

しみずっ子の強みと課題は???

～学力・学習状況調査の結果から



教務担当

2018年の全国学力・学習調査の結果を見ると、全国的に知識を身近な問題に活用したり、複数の情報を結びつけたりする力について課題が見られました。国語では「目的に応じて説明すること」や「複数の情報を結びつけて説明すること」に慣れていないことがわかりました。

例えば国語Bの、献立を紹介する文章と保健室の先生の話のメモから必要となる情報を取り出し、条件に合った文章を書く問題については、正答率や無回答率が気になりました。一つの文章から情報を取り出して読み解く学習はこれまでも行ってきました。しかし、一つの文章から複数の必要な情報を取り出して組み合わせたり、複数の情報からそれぞれ必要な内容を取り出したりすることは、さらに経験を積み重ねる必要があると感じました。算数についても同様に、複数のメモや棒グラフから総数や変化に着目することが求められる問題が難しかったようです。グラフを単純に見比べるだけでなく、いろいろな視点で読み取る力を伸ばしていきたいです。理科については、知識を問う問題は比較的できていましたが、論理的な考え方が求められる記述式問題に課題が見られました。

本校ではこの結果を受けて、「目的を持って相手に説明する学習」を大切にしていきます。総合的な学習の時間や委員会活動、ISSへの取り組みなど、複数の資料から情報を集めてまとめたり、自分の考えを深めたりして、伝わるように発表する学習は多々あります。国語で身に付けた書く力を活用した発展的な学習を意図的・計画的に行い、学習状況の改善を図りたいと考えます。

しみずっ子の強みは、児童質問紙調査で「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した子が66・5%で、全国平均の62・6%を上回ったところです。家庭学習の習慣は学力向上につながります。毎日の音読や宿題に加えて自学ノートなどに主体的に取り組むことにチャレンジするとさらに力がつきます。

【強み】

- ・目的に応じた情報を選ぶ力は比較的ついてきている
- ・実験や観察の適切な方法を選ぶ力はついてきている
- ・家で、学校の授業の予習・復習をしている
- ・きまりをよく守っている

【弱み】

- ・複数の情報を関連付けて考えることやまとめることが苦手
- ・多角的な視点から物事を考えることが苦手
- ・家で自分で計画を立てて学習に取り組むことは少なめ
- ・自分に良いところがあるととっと自信を持るとよい

授業の工夫・改善に

役立てていきます！！

「目的を持って相手に説明する学習」を大切に！

- * 教科・総合的な学習・委員会活動・学校行事等あらゆる場面を通して
- * 複数の資料から情報を集めてまとめたり、自分の考えを深めたりする活動
- * 考えたことを相手に分かりやすく伝え合う活動



めざせ！着用率100%！！防犯ブザーを全員がつけている清水小に！！

ある日の午後、総合的な学習の時間で、ISSの課題を解決しようと学習している5年生数名が、校長室に訪ねてきました。

「校長先生、防犯ブザーの着用率が、このところ落ちていくんです。」「付け忘れてしまったり、こわれて新しいものを準備できていなかったり、理由はいろいろあるようです。」「これから、暗くなるし、本当に危ないと思うんです。」「いざという時、助けを求める大声って出にくいと学習しました。」「そこで学校全体に、なぜ防犯ブザーが必要なのか、呼びかけたいと思うのですが・・・」次から次へと、一生懸命にチームで考えたことを話してくれました。

実際に、防犯ブザーの着用率が低下傾向にあり、危機感を感じています。『秋の日はつるべ落とし』と言われるように、どんどん暗くなる時刻が早まります。また、他地区で、下校時の声掛け事案、放課後の帰宅途中における声掛け事案が多く報告されている実情もあります。万が一の場合に備えて、登下校や下校後の児童の安全対策として、防犯ブザーを必ず携帯してほしいものです。

「防犯ブザーを持った??」出かける前の保護者の皆さまの声掛けが特効薬です。ぜひ、ご家庭でも、防犯ブザーの必要性について話題にしてください。

第2回ISS集会～安全な学校生活を自分たちの手で！！

ISS集会は、1年生から6年生までの全校児童が集まり、清水小のISSについて発信したり、話し合ったりする集会です。「安心・安全な学校づくりについてもっと話し合おう、考えよう」というねらいで今年度から新しく始まりました。

10月16日に行われた第2回の集会では、5、6年生が中心となって清水小ISSの課題点をさまざまな視点から発信し、全校で考えていきました。

5年生は、各クラスで課題点や解決策を話し合い全校に向けて提案をしました。全員参加型で全校児童が、赤白帽子の色を変えることで賛成・反対を表明します。自分の問題として一人ひとりが考えをしっかりと持つことをねらいとした新しい試みです。

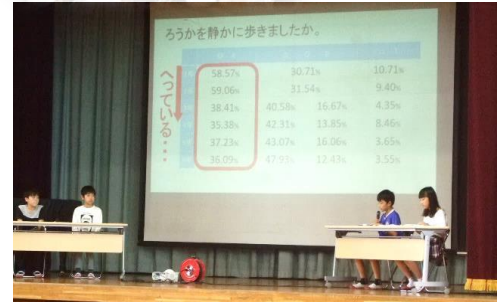
6年生は、ISSのチームリーダーが中心となり、他学年や地域の方からの意見を聞きながらのパネルディスカッションです。「不注意やトラブルなどによるけがが減らない」という清水小の課題について各チームでできることをそれぞれの立場から発信しました。当日は、学校運営協議会委員の皆さまにも出席いただきご意見をいただきました。「一人ひとりが真剣に考えている姿に感心しました。次につながる素晴らしい取り組みですね。」という言葉をいただきました。

最後は、ISSの活動をまとめている運営委員会委員長が「これからも一人ひとりが安心・安全な学校作りについて考え、意識を高めていきましょう。そして清水小のISSを世界に向けて発信していきましょう」という力強い言葉でしめくりました。

帽子の色で、自分の意見を表そう！



5年生の各クラスからの提案



6年生ISSチームリーダーによるパネルディスカッション

いじめ暴力防止キャンペーン

各クラスの重点目標



〈例〉

- 自分が笑顔になった。友だちも笑顔になった。
- あいさつをすることができた。あいさつをしてもらった。
- 友だちと仲良くすることができた。友だちに優しくすることができた。
- 自分からありがとうと言うことができた。友だちに〇〇してもらった。

『4本のヒマラヤ杉キャンペーン』は、いじめや暴力をなくしていこうとする心情を育むために、児童会の呼びかけで行っている取り組みです。10月15日～26日の期間で、自分ができたことや友だちにしてもらったことをヒマラヤ杉の葉に書き、各学年で「えがお」「あいさつ」「なかよし」「ありがとう」の4本のヒマラヤ杉を葉でいっぱいにしていく活動です。

児童が書いた葉には、「友だちが落とし物をいっしょにさがしてくれて、えがおになった」「自分から大きな声であいさつができた」「ちがうクラスの子ともなかよくなれた」「友だちのえんぴつを拾ったら、ありがとうと言ってくれた」など、自分の行動を振り返るだけでなく、友だちのよいところにも目を向けた言葉がたくさん書かれています。

このキャンペーンをひとつのきっかけとして、あたたかい行動ができた、友だちのよさを認めることができた、さらに育てていきたいと思っています。またキャンペーン終了後には、クラスで重点目標の達成度を振り返り、その後の学校生活にもつなげていければと思います。

このヒマラヤ杉は各学年の廊下や階段に掲示してありますので、来校された際にはぜひご覧ください。

「困ったことアンケート～ひとりで 悩まないで！！」

児童指導担当総括教諭

運動会が終わり、すっかり秋めいてきました。9月の間は、運動会の練習や準備にみんな一生懸命でした。台風の影響で延期になってしまいましたが、素晴らしい運動会だったと思います。

しかし元気にふるまう笑顔の裏側で、勉強や友だちのこと、家族のことなど、いろいろなことで思い悩んでいる児童がいるかもしれません。学校では、「困った時には、『助けて！！』と言っていいのです。『誰かに助けてもらおう。』という気持ちを持ってください。」と話しています。私たち教職員もそのような児童に気づけるように、普段からアンテナを高くして児童理解に努めています。

その一環として、学期に一回行っている「困ったことアンケート」を10月3日から実施しました。アンケート記入後は、担任が児童全員と面談を行います。「全く困ったことはありません。」と笑顔で答えてくれる児童がほとんどですが、中には「変なあだ名で呼ばれる。」「仲間外れにされる。」「強い口調で文句を言われる。」など、様々な悩みが聞かれます。悩みを知った担任は迅速に対応し、ほとんどの悩みは解決されます。しかし、中には複雑な友だち関係があったり、ご家庭の協力がなくて解決できないような内容もあります。どのようなケースであれ私たちは、子どもたちが安心して学校生活をを送ることができるように努力していきたいと思っています。